

沖縄県公文書館所蔵

沖縄戦関係の映像・音声資料について

■動画資料

米国国立公文書館には、米軍が戦時中に撮影した沖縄戦関係フィルムが約 1000 巻あることが確認されています。当館は、その中の 150 タイトルの沖縄戦関係映像資料を米国国立公文書館から収集し、所蔵しています。このほか、日本放送協会沖縄放送局から沖縄戦関係映像フィルムの寄贈を受けました。米国国立公文書館や東京の NHK 放送センターから収集した動画の DVD 版 574 タイトルを公開しています。当館閲覧室でご覧になれるほか、ホームページでも一部公開しています（モバイル対応あり）。



沖縄戦関係の米国収集映像資料



沖縄戦関係の米国収集映像資料の HP 検索画面

■写真資料

当館は、陸軍、海軍、海兵隊、陸軍航空隊の各部隊が沖縄戦中に撮影した写真約 10,000 枚、空中写真約 3,200 枚を米国国立公文書館から収集し、公開しています。そのほか、個人や団体から寄贈された戦中、戦後の写真資料を所蔵しています。米国収集写真資料は、当館閲覧室、または、ホームページ「写真が語る沖縄」よりご覧になれます。空中写真は、閲覧室の空中写真閲覧システムの端末よりご利用ください。

〔国防総省 / 海兵隊文書〕「米海兵隊写真資 17」

手榴弾を投げる海兵隊員とその様子を撮影する従軍カメラマン
1945年5月6日 資料コード 0000112260 写真番号 80-22-1



■音声資料

当館所蔵の沖縄戦関係音声資料は、故宮城聰氏(1895～1991年)の遺族から寄贈されたものです。宮城氏は『沖縄県史第 9 巻各論 8 沖縄戦記録 1』(1971 年)(以下『県史』とする)の編集に携わりました。『県史』は、住民の戦争体験を、証言として収録しています。米軍上陸地点以南(北谷、中城、宜野湾、浦添、那覇、南風原、糸満、東風平)地域を中心に、座談会形式で聞き取りを行いました。肉声の記録には、活字化された証言だけではわからない体験者のことばが残っています。公開については、ご本人等のご意向で利用が制限されている場合がありますのでご了承ください。